

## 福は内、福は内! 開運招福を願う 節分厄除祈祷会



去る2月3日(水)西山本堂において節分厄除祈祷会が行われ、堂内には多くの人が詰めかけました。祈祷会参加者は魔を祓う羽織を身に付け、厄除祈祷を受けたのち、威勢よく豆を投げて立春開運を祈願しました。

# 八 キ 山 文 庫

2803号

### 特集

寺宝通心「四仏にまみえて」	3ページ
平成28年度春季彼岸会	4ページ
地域版「さくらカレッジ」	6ページ

平成28年春季彼岸会

3月17日(木)～23日(水)  
彼岸合同供養会

3月19日(土) 永代祠堂法会  
3月20日(日) 西山本堂法会  
お中日 人形仏具供養会  
動物慰靈法会

※詳細はPA及びカレンダーにてご確認ください。

3/5(土)・13(日) 能満堂秘仏開屏

10時より開扉法会、法会終了後13時まで 能満堂にて

興正寺能満堂の本尊である秘仏・虚空藏菩薩は、開山天瑞和尚一刀三礼の御作で、名古屋の「智慧守り」として約三百年前、この地に鎮座しています。年に一度のこの機会、智慧授けとして虚空藏菩薩とせむ縁縁をお結びください。

祈禱料 五千円・一万円(安産木札授与)

戌の日 安産合同祈禱会(要予約)

3/5(木)・17(木)・29(火)  
14時より 西山本堂にて

※3月5日は15時、17日は14時30分  
古来より興正寺は安産の名刹として信仰されてあります。子宝・安産守護として「大隨求陀羅尼」の御守をお持ちいただきます、安産祈禱を勧めております。

3/23(水) 涅槃会

13時より 西山本堂にて

涅槃会とは、お釈迦さまが入滅されたとされる旧暦二月十五日、お釈迦さまを偲び遺徳を謝る法要です。西山本堂には大きな「涅槃図」(お釈迦さまが入滅された時の様子を描いたもの)がかけられます。

特別朱印  
毎日おさずき印

4/10(木)・22(金)

## 杜のコラム

くれる存在である祖先への祈りへと繋がっていく。この風習は「日願」と表された。

一方、仏教において彼岸とは生死の海を渡つて到達する悟りの世界を指す。その反対側、迷いや煩惱に満ちたこの世界を此岸といい、彼岸は西へと進むために、見えないものと墓なのかもしれません。

ねば土に還るだけ、そう考え

る人もいるだろう。しかし残

念ながら我々は至極、弱い。

神仏は信じない人は死

ぬが、己にどう受け入れさせる

か。喪失をいずれ乗り越え

進むために、見えないものと

墓なのかもしだれぬ。

彼岸がやつくる。家族そろって墓へと参る人も多いだろう。

彼岸は日本独特の行事であ

る。稲作をする農耕民族であ

った日本人にとって、種を蒔

く春や、収穫の秋の天候は暮

らしを左右する問題であつ

た。天を司る太陽は崇敬の対

象であり、大いなる自然に対

する畏敬は、自らを守護して

合わせるようになる。古い習

春の気配と共に、今年もまた彼岸がやつくる。家族そろって墓へと参る人も多いだろう。

彼岸は日本独特の行事であ

る。稲作をする農耕民族であ

った日本人にとって、種を蒔

く春や、収穫の秋の天候は暮

らしを左右する問題であつ

た。天を司る太陽は崇敬の対

象であり、大いなる自然に対

する畏敬は、自らを守護して

合わせるようになる。古い習

ねば土に還るだけ、そう考え

る人もいるだろう。しかし残

念ながら我々は至極、弱い。

神仏は信じない人は死

ぬが、己にどう受け入れさせる

か。喪失をいずれ乗り越え

進むために、見えないものと

墓なのかもしだれぬ。

線香の煙がたなびく春の

空手を合わせ、今年は何を

あの人に話そつか。

對象 平成16年生まれ

数え年13歳の男女

満年齢13歳でも受付いたします。

祈禱料 五千円

(祈念の書・能満堂絵馬・願いの実付)

## 興正寺の十二参り(要予約)



### 「十三参りの日」

4月23日(土)・5月7日(土)

午前の部10時より 午後の部14時より

「十三参りの日」には、お祈りに

加えて大書院での法話・行儀作

法講座を行います。

(所要時間約三時間)



(1)

&lt;七日経・年忌法要と十三仏&gt;

1	初七日	不動明王
2	二七日	觀音菩薩
3	三七日	文殊菩薩
4	四七日	普賢菩薩
5	五七日	地藏菩薩
6	六七日	勢至菩薩
7	七七日	藥師如來
8	百ヶ日	觀音菩薩
9	一周忌	勢至菩薩
10	二回忌	阿彌陀如來
11	七回忌	阿閻如來
12	十三回忌	大日如來
13	三十三回忌	虛空藏菩薩



△普賢菩薩(普照殿)



△文殊菩薩(西山本堂)

一度、思い切って自身の色眼鏡を外してください。物事の在り方を正しく見極める、文殊菩薩になつたつもりで「仮の眼鏡」をかけてみましょう。今まで見てきた景色が一変して、本当に大切なものに気付き、この世界を正しく見ることができるようになるかもしれません。



立春を過ぎても季節はまだ冬。暑さ寒さも彼岸まで…とはいいますが、今年の気候は本当に読めませんね。

さて十三仏のシリーズも三回目。三七日の仏さまは能満堂の虚空藏菩薩と双璧を成す、興正寺の二大智慧仏「文殊菩薩」です。今回も張り切っていきましょう。

### +++三人寄れば…+++

文殊菩薩は、正式には文殊師利菩薩といいます。この興正寺では一尊で西山本堂正面の阿彌陀如來の右側に祀られていますが、觀音如來の左脇侍(脇侍:信仰の中心となる仏の左右に控える菩薩や明王・天部のこと)として普賢菩薩と共に三尊で並ぶことが多い仏さまです。

「三人寄れば文殊の知恵」という言葉を聞いたことがあるでしょう。

凡人でも、三人集まれば文殊菩薩さまのような素晴らしい智恵が出るものだ…ということわざ。学力向上の仏として広く信仰されています。が、実は本来、学問・記憶力を司るのは虚空藏菩薩。文殊菩薩は物事の在り方を正しく見極める力・判断力を意味する「智慧」を司っています。さて、物事の在り方を正しく見極める、判断するとは一体どういうことでしょうか。

この話を、例えば法律という観点からみれば少年は「悪」になります。ですが本当に、少年がただ悪いことをした、というだけの話でしょうか。私たちが多くの枠組みの中で生活をしています。法律だけではなく、会社、学校、家の中…それにルールがありますし、経験やそれに伴う思い込み、そういうものも判断の基準となるでしょう。物事や人を見るとき、知らず知らずのうちに私たちにはこれらの「色眼鏡」がかかっています。

三七日は不動明王によつて迷いを断ち切られ、觀音如來に仏教の教えを説かれた故人は、文殊菩薩の元へたどり着きます。そこで、「智慧」という私たちは多くの枠組みの中で生活をしています。法律だけではなく、会社、学校、家の中…それにルールがありますし、経験やそれに伴う思い込み、そういうものも判断の基準となるでしょう。物事や人を見るとき、知らず知らずのうちに私たちにはこれらの「色眼鏡」がかかっています。

### ツウの細道

#### 三月三日は女の子が主役の「雛祭り」。

形は元々、子どもたちの災い・穢れを代わりに受けてくれるものでした。このような大切なお人形を手放すときは丁寧に供養いたします。

三月二十日に興正寺では人形・仏具供養が厳修されます。お問い合わせください。

食欲旺盛な私は花より団子、雛祭りといえば「ちらし寿司」です! 海老は長生き、蓮根は見通しがよく、豆

は健康でまめに働ける、そんな縁起のいい貝が並び、三つ葉、卵、人参などの華やかな彩りが祝いの席に相応しく、食卓に春を招きま

すね。



卷の二十一

高野 正清

### +++文殊菩薩の「智慧」+++

### +++仮の眼鏡+++

# 寺一宝一通一心

—特別版—

## 四仏にまみえて

冷えこみが厳しさを増した一月二十日朝、御迎牟尼大仏とともに牟尼殿に奉安予定の四仏のお精入れが執り行われました。光明殿一階奥に安置された弘法大師、僧形八幡、不動明王、毘沙門天の尊像の前にずらりと僧侶が立ち並び、読経の声が響く様は圧巻の一言でした。

私がこの事業を担当させていただけてからおよそ二年半。制作に尽力いただいた方々からは、多くのことを学ばせていただきました。とりわけ心に残るのは、仏師の江場琳雲、琳觀両氏の仏像に向き合う姿勢です。伝統を重んじながらも、慢心することなく新たな技に挑む。木像が仏像となる過程を垣間見たような気がします。

大きな木の固まりが仏像として私たちの前に現われるまでにはいくつもの工程があり、様々な技が必要とされます。技を受け継ぐ人なくしては、なしえない仕事です。

僧形八幡は、興正寺の開

祖、天瑞圓照和尚の六十歳

頃のお姿をモデルにして

います。和尚の肖像画が残

されています。和尚のお許しを

得て、開山天瑞圓照和尚肖像画

がお使いだった品を写

しました。右手の如意も、和尚がお使いだった品を写

△胎内に由緒書を納入する様子  
(江場琳雲氏)

△宗の寺院で、一六八年に尾張徳川家二代藩主光友公のお許しを得て、開山天瑞圓照和尚により創建されました。

ご存知のとおり、興正寺は弘法大師を開祖とする真言宗の寺院で、一六八年に尾張徳川家二代藩主光友公のお許しを得て、開山天瑞圓照和尚により創建されました。



△安置された四仏



△荒彫りの不動明王像(江場琳雲氏)

以後、尾張徳川家の祈願所として、学問修行の寺として、今日まで法灯を守り伝えています。

四仏の胎内には、お作りした事訳を記した文書が納められているのですが、これらは像を修復するときに初めて人の目に触れるものです。それが百年

先かはたまた千年先かは分かりませんが、確かに未来に繋がるものがあります。

四仏にはそれぞれ由来があります。弘法大師は良く知られたお姿ですが、椅子ではなく蓮華座に座つていらつしゃいます。そして右手に持つていらつしやる五鉢杵は、

「弘法大師御所持」として興正寺に伝わる品を写しとつたものです。また、左手の念珠も「弘法大師御使用」とされる品を限定数でつくられたものを用いています。

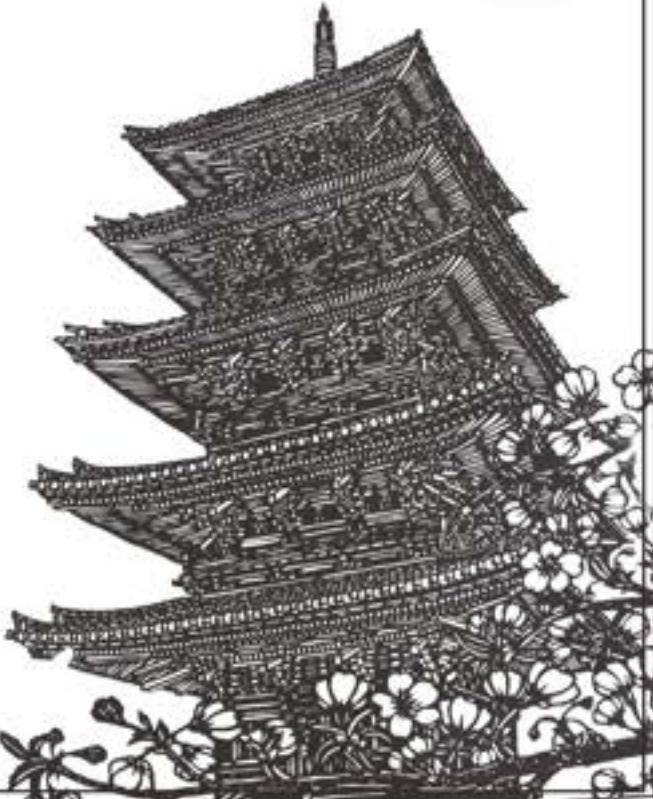


△開山天瑞圓照和尚肖像画

いえます。睨みをきかせ、悪鬼や災厄から皆さんを守つてくださる力強いお姿です。

いずれも素晴らしい出来栄えであり、尊崇の念を抱かせます。新たにお迎えした四仏に、ぜひお参りくださいませ。

そしてなんと、第二回さくらカレッジ(三月二十六日)にて、これらの尊像をお作りいただいた江場琳雲氏の講演が行われます。仏師の方から制作にまつわるお話しを伺う機会は稀なこと。こちらにもぜひご参加ください。(川村)



【西山本堂】墓地・靈龕堂・仏羅陀淨苑・永代納骨 お墓の有無にかかわらずどなたでもご参加いただけます

時間	17日(木)	18日(金)	19日(土)	お中日 20日(日)	21日(月・振)	22日(火)	23日(水)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	永代祠堂法会	○	○	○	○
13:00	○	○	永代祠堂法会	○	○	○	涅槃会
16:00	○	○	○	○	○	○	○
19:00	○	○	○				

## 【圓照堂】

※期間中、お骨・お位牌はお出し出来ません。

時間	17日(木)	18日(金)	19日(土)	お中日 20日(日)	21日(月・振)	22日(火)	23日(水)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
10:00	○	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	○	○	○	○
14:00	○	○	○	○	○	○	○
15:00	○	○	○	○	○	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○	○
19:00	○ 西山本堂	○ 西山本堂	○ 西山本堂				

■は混雑が予想されます □はお受けできません

興正寺ではお彼岸の期間中、ご先祖さまや亡き方々への供養会を行います。  
家族が恙なく暮らしていることを故人に報告し、感謝の気持ちを込めて  
心静かに手を合わせましょう。

- 申込方法／来寺または振込にて(予約優先)

※ご参加できない場合、遙拝供養(施主さま不参加でのご供養)も承ります。

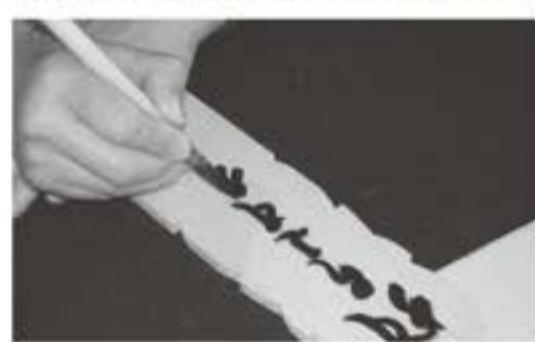
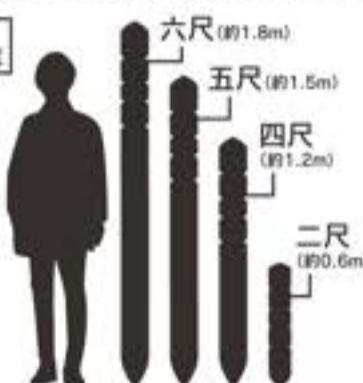
## 春季お彼岸のご案内

三月十七日(木)～二十三日(水)

## 春季お彼岸のご案内

## ◎塔婆供養料

塔婆の大きさ	
六 尺	35,000円
五 尺	15,000円
四 尺	10,000円
二 尺	5,000円

卒塔婆  
サイズ一覧

興正寺の塔婆は、一本一本手書きです。

## 期間中の諸法会ご案内

## ◆三月十九日(土)

## ○永代祠堂法会

西山本堂にて  
十時三十分・十二時・十三時三十分より

## ◆三月二十日(日)

## ○興正寺合同慰靈法会

西山本堂にて  
九時三十分より

## ○人形・仏具供養会

参道にて  
十三時より

## ○動物慰靈法会

新回廊にて  
十四時三十分より

## ○奉納料金千円

受付〆切  
三月十三日(日)

## 事前申込制



お彼岸期間中、當山ではご先祖さまへのお供えとして「ぼたもち」の奉納を承っております。

## 奉納ぼたもちのご案内

## 興正寺 春の行催事 ご案内

### 結縁灌頂 4月5日(火)



年に一度、4月5日に行われるこの「結縁灌頂」。暗闇の中、僧侶より戒をさすかり、仏と縁を結ぶ儀式に臨みます。興正寺の年中行事で最も大切な儀式のひとつです。

### 涅槃会 3月23日(水)



お釈迦さまが入滅されたとされる旧暦2月15日に行われる法会です。本堂内にかけられる大きな軸、「涅槃図」も要チェック!

### 大日堂大祭 華曼茶羅会 4月8日(金)



毎月8日は大日如来さまの御縁日。4月は大祭として、昨秋から皆さまと共に育てた花を以て、仏さまの世界・曼荼羅を莊厳いたします。

### 第2回 さくらカレッジ 3月26日(土)・27日(日)

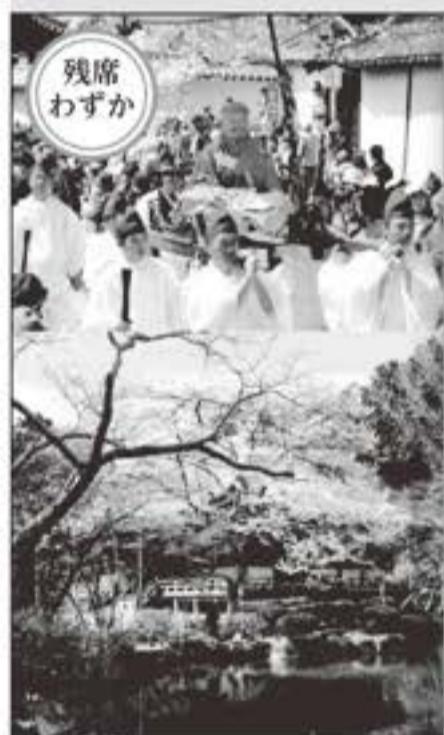


地域の皆さまへ学びと対話の場を提供する春の2日間、アートやクラフト・体験・セミナーなど様々なジャンルで講座を開講いたします! (P.6の告知もご覧ください)

### 十三参り



十三歳の節目に、虚空藏菩薩さまより智慧を授かる「十三参り」。あたたかくなると、境内には晴れ着に身を包んだ子どもたちがやってきます。



残席  
わずか

### 豊太閣花見行列と 随心院参拝 平成二十八年四月十日



※境内の一例にある境内茶屋では、「水」と「初の御射」にこだわった伝承の懐石料理をお召し上がりいただけます。

■ 行程表 (※この行程は運輸機関の都合、天候、道路状況等によりスケジュールの一部が変更となる場合があります。予め、ご了承下さい。)

興正寺(8:00頃発)→吹上東IC→東名阪自動車道・名神高速道路→京都東IC→醍醐寺(10:30着/参拝)→雨月茶屋(13:00/昼食後各自見学)→醍醐寺(14:50発)→隨心院(15:00-16:30/参拝)→京都東IC→東名阪自動車道→名神高速道路→吹上東IC→興正寺(19:00)

■ 旅行日程: 平成28年4月10日(日) 日帰り(集合時間/7:40集合(8:00出発))

■ 旅行代金: 10,000円 (税込/日帰り1食・交通費・入場料・その他経費・年譲費=500円を含みます)

※お大師さまのみ教えを一人でも多くの方に知っていただく為の布教活動や、弘法堂の講演会などに役立たせていただきます。

■ 申込締切/募集人数: 平成28年3月21日(月)まで/定員45名 (受付場所: 光明殿受付カウンター)

・旅行代金に含まれるもの: 行程に記載された交通費、食事料金、観光料金(ご朱印は各自でのご負担となります)  
・このパンフレットに記載された旅行代金は平成28年4月10日の運賃・料金を基準としています。  
・バス・昼食のお座席は各自にお任せいただきますようお願い致します。

お申込み・お問合せは「弘法堂団体参拝について」とご連絡ください

八事山興正寺

TEL 052(832)2801

Tel 052-832-2801

株式会社  
名鉄観光サービス

### 世界遺産 醍醐寺

真言宗醍醐派総本山の寺院で、本尊は薬師如来。開基(創立者)は理源大師聖宝です。古都京都の文化財として世界遺産に登録されており、豊臣秀吉による「醍醐の花見」の行われた地としても知られています。

#### 醍醐の花見

慶長三年(1598)の春、秀吉が開いた盛大な花見の宴の事。近畿各地からつぼみをつけた桜を700本取り寄せ、植樹、三宝院の建物と庭園を造り、豪華絢爛な花見が催された。当時としては日本最大規模の花見だったと言われる。

#### 特別体験

現地ガイド2名による約2時間半の境内案内を致します。

### 随心院

真言宗善通寺派の大本山で、弘法大師より8代目の弟子にあたる仁海の開基とする。本尊は如意輪觀音。正暦二年(991年)一条天皇に奏請してこの地を開基した。古くは牛皮山曼荼羅寺とも称された。また小野地区は小野氏の根拠地とされ、随心院は小野小町ゆかりの寺としても知られる。

#### 特別体験

随心院参拝では、今回の旅行の特別な体験として、随心院僧侶による境内特別拝観を実施します。境内案内中には、普段は決して見られない「本堂と狩野派の繪巻」を特別にご覧頂けます。

# 地域版

八事山文庫

人と街とお寺をつなぐ場所

## 第2回 興正寺さくらカレッジ

2016.3.26(SAT)-27(SUN) 10:00-16:00

チャリティ公開講座:無料

申込

学びの好奇心に  
サクラ咲く  
興正寺から事始め。



昨年好評をいただいた「興正寺さくらカレッジ」を、第2回目として今年も開講いたします。地域の学びの場・対話の場として、学問・修行の寺として300余年もの間受け継がれてきた興正寺の原点に回帰するチャリティー講座です。

詳しくは、チラシ・興正寺公式サイトをご覧ください。(受講応募締切／平成28年2月29日当日消印有効)

みなさまからの寄付金は、地域社会貢献の為に、福祉関係団体へ寄付させていただきます。

弥生

のこと

啓蟄

三月五日

春分

三月二十日

「いやよい」が変化  
「育」ます、「生」草木が  
芽吹くさま。

地中で冬ごもりをしていた生き物たちが  
目覚める頃、春の気配を感じ、目覚めた生  
き物たちは暖かな光の中で動き出す。

往後、長さが同じになる日、自然を体  
験して生きとし生けるものを慈しむ日とさ  
れる。多くの別れと出会いがある頃。

親子で読みたい

ことのは  
あそび

身体・言葉・心。この三つを同時に高めていくことが大切だという  
お大師さまの教えの一つです。  
このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月紹介していきます。

身口意。



孟浩然(689年-740年)は中国唐代の代表的な詩人です。若い頃から各地を放浪し、その土地の人々と交流したといわれています。自然を題材にした詩が多く、人情の及ばぬその風景と、人生の愁いとを行き来する心情を詠みこんでいます。

「春曉」孟浩然

花落つること知りぬ多少ぞ(花落知多少)  
一春の眠りは心地よく、夜明けにも気づかない  
一あちらこちらで鳥のさえずりが聞こえる  
一昨夜は風や雨の音がしていたが  
一どれほどの花が散ってしまったのだろうか

处处に啼鳥を聞く(处处聞啼鳥)  
春眠暁を覚えず(春眠不覚暁)  
夜來風雨の声(夜來風雨声)



## 「遊翠の心」教室が新しくなります

この教室は、興正寺の茶室・竹翠亭を中心に行っているものです。心をのびのびと解き放ち、清涼な空気感の中で遊ぶように学んでいただきたいと名づけられました。5年目を迎えた本年、新たな学びの場をご用意し、リニューアルいたします。

「仏の心」に出会う

### 阿彌觀

- ◆真言密教独特の瞑想法で、姿勢と呼吸を整えます。
- 開催日 4/26, 5/24, 6/16, 7/26, 8/23, 9/27, 10/25, 11/22, 12/27
- 時間 ①10時~12時 ②14時~16時
- 講師 西山海良
- 支具料 1,500円/月(呈茶付) ○定員 12名

「筆」に親しむ

### 日々折々の書

- ◆「浮かし書き」の筆法を基礎から学びます。
- 開催日 4/25, 5/23, 6/27, 7/11, 8/22, 9/26, 10/24, 11/14, 12/19
- 時間 10時~12時 ○講師 中村均
- 支具料 2,000円/月(呈茶付) ○定員 20名

「着物」を愉しむ

### きもの装い講座 初級(月1回選択)

- ◆初めての方に。基礎から学ぶ講座です。
- 開催日 4/6・14, 5/11・26, 6/1・16, 7/6・14, 8/3・18, 9/7, 10/12・20, 11/2・17, 12/7・15
- 時間 10時~12時 ○講師 小泉美代子
- 支具料 2,000円/月(呈茶付) ○定員 12名

「茶の心」に触れる

### 茶の古典を読む

- ◆茶について述べられた書を読み、解説します。  
はじめは岡倉天心の「茶の本」からです。
- 開催日 4/14, 5/19, 6/9, 7/14, 8/4, 9/8, 10/6, 11/10, 12/8
- 時間 10時~12時 ○講師 棚田英伸
- 支具料 1,500円/月(呈茶付) ○定員 20名



△茶カブキ

申込受付中 電話052-832-2801(茶室 竹翠亭)

2/25~3/4

「桃の節句」の室礼をお楽しみいただけます。

茶室 竹翠亭

持続料(呈茶付)

500円



### 写 経

- ◆仏様の心であるお経を一字ずつ写していきます。
- 開催日 4/12, 5/10, 6/14, 7/20, 8/2, 9/6, 10/11, 11/8, 12/15
- 時間 ①10時~12時 ②14時~16時
- 講師 西山海良
- 支具料 1,500円/月(呈茶付) ○定員 12名

### 水墨画

- ◆基本の筆運びから学び、色紙に作品を描きます。
- 開催日 4/22, 5/27, 6/24, 7/22, 8/26, 9/23, 10/28, 11/25, 12/16
- 時間 14時~16時 ○講師 山田静舟
- 支具料 2,000円/月(呈茶付)\*要道具 ○定員 15名

### きもの装い講座中級(月1回選択)

- ◆自分らしく装うこと目標に、学びます。
- 開催日 4/6・14, 5/11・26, 6/1・16, 7/6・14, 8/3・18, 9/7, 10/12・20, 11/2・17, 12/7・15
- 時間 13時~15時 ○講師 小泉美代子
- 支具料 2,000円/月(呈茶付) ○定員 12名

### 茶の扉(3ヶ月連続講座)

- ◆茶道と煎茶道の入門教室で、お茶会に参加できるよう客作法を学びます。
  - 時間 ①10時~12時 ②14時~16時 ○講師 萩田操・中根和枝
  - 支具料 4,500円(3回前納) ○定員 12名
- |      |   |
|------|---|
| 春コース | 4/28 茶の湯客作法・5/26 茶の湯客作法・6/23 煎茶客作法(冷煎茶) |
| 夏コース | 茶の湯客作法と煎茶客作法(すずり茶)                      |
| 秋コース | 茶の湯客作法と煎茶客作法(玉露)                        |

**想耕の茶** ◆きもの装い講座の毎月初日に開催／お茶席での客作法体験(1,000円・予約優先)

**マルシェ点前** ◆毎月21日／10時~13時 僧侶によるお点前でお茶を召し上がっていただけます(500円)

**マルシェ着付体験** ◆毎月21日／10時~14時 服の上から帯を着付けてみる、気軽な着付体験です(無料)

らと願っています。  
紙になっていた  
みを感じる厚  
紙に重ね  
た。これからも  
続け、いつか  
お稽古は薄紙を重ねていくようなもの、と聞きました。

お茶の世界には、大好きな衣食住の和の文化が凝縮していること。高価なお道具は買えなくとも、その心の端を自分の生活に活かすことはできるはず。花を生けること。たまには着物を着てみること。ものを大事にすること。他人への気遣い。

気づきが少しずつ広がり、実践していくことで日々の暮らしが豊かになっているような気がします。

それからお稽古に行く前には、自宅の玄関先の掃除をして清々しい気持ちで出かけるようになり、努めてお休みはしないように心掛けてきました。そして続けていくうちに、少しずつ分かってきました。

ある日、知人に「お茶のお稽古はお休みできないでしょ! 先生は炭をおこして待っていてください」と言われ、初めて気が付きました。「そうだ、先生は私たちに教えるためにお部屋を整え、早くから準備をしてくださっているのだわ。」

お茶とお菓子が好きだからと始めたお茶のお稽古が、こんなに長く続くのはなぜでしょう? お点前は中々覚えられない。お道具を見てもどこを見るのか何が良いのか、本物のところ分かりません。この先どうなるかと不安になり、お稽古に行く足が止まることもありました。

### 竹翠だより

#### お茶が教えてくれた しあわせ

#### 「お稽古とは」

# 八事山歳時記

## 星祭御札祈祷会

二月三日(水)

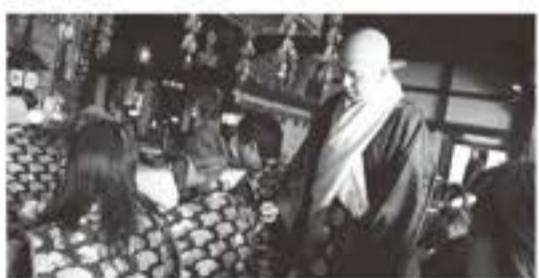
密教秘奥の星供の法会が厳修され、本年度の星を供養し、滅罪生善が祈願されました。加持を受けた御札は、二月四日(立春)からの一年間、みなさまの傍でお守りをしてください。



## 節分厄除祈祷会

一月三十日(土)・二月三日(水)

去る一月三十日と二月三日の二日間、節分厄除祈祷会が西山本堂内で厳修されました。参加者は厄払いの祈祷を受けた後「福は内!」の掛け声と共に堂内にて待ち構える多くの人たちに向かつて福豆を力いっぱい投げました。



## 初弘法・授戒

一月二十一日(木)

今年初めての弘法大師縁日、初弘法に合わせ弘法堂にて授戒が行われました。暗闇に閉ざされた御堂の中、参加者は仏さまの示された十箇条の戒め(菩薩十善戒)を

かりました。



## 文化財防火デー

一月二十六日(火)

火災などから国の重要文化財を守る「文化財防火デー」が、去る一月二十六日(火)に開催され、東海地方唯一の木造五重塔である興正寺五重塔(一八〇八年建立、昭和五十七年に重要文化財指定)の周辺で火災が発生したと想定し、僧侶を含めた職員が消防活動の訓練を行いました。



## 成道会

一月十七日(日)

釈迦が悟りを開いたとされる旧暦十二月八日、成道会が本堂にて厳修されました。参拝者は次第に手に僧侶と経を唱え、悟りを開かれた釈迦尊への感謝を伝えました。法会の終了後にはお接待として乳粥が参拝者に振る舞われました。



## 冬の宝物展「めでた尽くし」

一月二十六日(火)・二十七日(水)

おめでたい図柄を集めた宝物展が一日間に渡り普門園大書院にて開催されました。軸を中心にして、中に尾張徳川家二代藩主徳川光友公、七代藩主徳川宗春公の描かれた貴重なものも展示されました。



△「羅り布袋図」徳川光友公筆

八事山 興正寺

智慧の御仏 虚空蔵菩薩さまと御縁を結ぶ

能満堂 秘仏開扉 特別開扉

3月5日[土]・13日[日] お問い合わせ先  
10時~13時 \*入室無料／開扉は法会時間中のみ TEL 052 (832) 2801

至自  
平成二十八年  
一月三十日  
(順不同 敬称略)

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。合掌

八事山興正寺

《金壺萬円》 渡邊清子  
《金壺千円》 荒川禮子 章

平成大改修

志納ご芳名

奉納後 ← お申込み後 ← お申込み方法

永代千基燈籠・永代特別燈籠のお申込みについて

どなたでも御奉納いただけます。奉納いただく燈籠底面には、  
①戒名もしくは願意、②施主様のお名前、③ご奉納年月日をお彌りいたします。

お申込み後 納経所にて、お申込みご希望の旨をお伝えください。  
後日、証書を直接または郵送にてお渡しいたします。

お申込み方法 燈籠が奉られましたら、お手紙にてご連絡させていただきます。  
※法要の約一ヶ月前のご案内をお送りいたします。  
※四月～九月にお申込みの場合は十月、  
十月～三月にお申込みの場合は四月となります。

永代燈籠開眼法要のご案内をお送りいたします。

金参拾萬円 燈籠が奉られましたら、お手紙にてご連絡させていただきます。  
後日、証書を直接または郵送にてお渡しいたします。

永代特別燈籠  
金参拾萬円 燈籠が奉られましたら、お手紙にてご連絡させていただきます。  
後日、証書を直接または郵送にてお渡しいたします。

## お坊さんと行く 興正寺団体参拝

興正寺団体参拝は當山僧侶が随行し、一緒にお經をつとめ、バス中では法話もございます。どなたでもお気軽にご参加いただけます。お寺やお坊さんを感じ、仏縁を深めていただければ幸いです。

### 平成28年度団体参拝予定

#### ◆名古屋二十一大师・七福神めぐり 日帰り

随行僧侶:三井正優僧侶  
5月11日(水)【旅行代金】9,500円(昼食代含む) 申込締切 4月27日(水)

#### ◆高野山参拝 日帰り

随行僧侶:牧野隆真僧侶  
6月1日(水)【旅行代金】11,000円(昼食代含む) 申込締切 5月18日(水)

#### ◆浅草観音 浅草寺参拝 ~四万六千日・ほおずき市~ 1泊2日

随行僧侶:西山海良僧侶  
7月10日(日)～11日(月)【旅行代金】37,000円 申込締切 6月19日(日)

#### ◆京都六地蔵めぐり 日帰り

随行僧侶:豊田正純僧侶  
8月22日(月)【旅行代金】10,000円(昼食代含む) 申込締切 8月8日(月)

#### ◆秘仏特別開帳の旅

秋予定  
 ○日程、費用等は変更となる場合がございます。予めご了承ください。  
 ○募集定員に満たない場合は中止とさせていただきます。  
 ○各参拝の朱印等をご希望の場合は別途費用が必要です。  
 ○申込方法/ご来寺またはお電話にて ○支払方法/ご来寺またはお振込にて前払い

お問い合わせ 光明殿受付 0120-8510-78

【取扱旅行会社】クラブツーリズム株式会社 名古屋テーマ旅行センター

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライズ栄 TEL 052-300-0011

観光庁長官登録旅行業第1693号 [総合旅行業務取扱管理者 勅使河原 大二]

旅行業公正取引協議会会員

### ーお寺の法会まるごと体験！ー

いち にち しゅう よう え

## 一日修養会

平成28年の一日修養会、テーマは「興正寺の法会」。

季節ごとにおこなわれる法会は、お釈迦さまやお大師さまにまつわるものなどさまざまです。くわしい解説を学んでから、法会に実際にご参加いただくことで、今までになく深く法会を体験していただけます。

法会参加者には特別朱印の授与もございます。(一日修養会専用朱印台紙つき)  
もちろん、昼食と写経もございます。皆さまふるってご参加ください。

「法話・法会参加(華曼荼羅会)・写経」4月8日(金)10時~15時30分

「華曼荼羅会」～大日如来の花宇宙～

密教の曼荼羅の中心仏こそが大日如来であり、真理の世界そのものが法を説く稀有な存在もあります。また興正寺の総本尊は大日堂の大日如来で、開基・尾張徳川光友公が亡母の供養のために建立した由緒もあります。一年に一度の大日如来の大祭として、この大日堂広場に大きな華曼荼羅をあらわしてその偉大さをほめたたえ、沢山の仏縁を結んでください。

◎支具料:一般 2,300円 杜の響会員 1,300円  
(昼食付・特別朱印授与)

◎定員:60名 要予約 ◎申込締切:4月5日(火)

◎お問い合わせ・お申込み:光明殿受付/0120-8510-78

\*法会を行う大日堂へは徒歩で移動します。(片道約10分)

\*スケジュールの日時や内容は状況などにより変更になる場合がございます  
のでご了承ください。

今後の予定 | 5月14日(土)、7月15日(金)、8月7日(日)、11月15日(火)、12月4日(日)

## 3月の興正寺講座

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

### 佛讃歌

#### 御詠歌上級

講師 鈴村隆弘  
3月1日・11日・17日 13時30分より  
金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

光明殿

#### 御詠歌初級

講師 鈴村智弘  
3月11日・21日・23日 14時より  
金剛流御詠歌の初心者向け講座です。21日・23日は本堂出仕。

光明殿

### 体験する

#### 阿息観(密教禪)

講師 杉浦宣秀  
3月10日・30日 14時より 普照殿／奥之院  
ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっています。誰でも心地よくリラックスできますよ!

#### 阿字観(密教禪)

講師 杉浦宣弘  
今月はさくらカレッジ内講座として行われます 奥之院  
真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

#### 写経・写仏

講師 桜田英伸  
3月21日 11時30分より 光明殿  
毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

### 学ぶ

#### 仏教入門講座

講師 森田泰澄  
3月31日 14時より 普照殿  
難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

#### 仏典読み解き講座

講師 桜田英伸  
3月18日 10時より 普照殿  
仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

### 遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。

#### 写 経

3月8日 講師 西山海良

#### 阿息観

3月29日 講師 西山海良

&lt;いずれも要予約&gt;

午前の部10時

午後の部14時

支具料1,000円

(きもの装いのみ2,000円)

#### 茶の湯

3月7日 講師 菱田操

#### きもの装い

3月9日 講師 小泉美代子

#### 茶の古典を読む会

3月10日 講師 桜田英伸

支具料1,000円

#### 心のままに 水墨画

3月25日 講師 山田静舟氏

支具料2,000円

※初回のみ道具の購入があります。詳細はお問い合わせください。

参拝者の皆さまへお願い

## 境内の車両通行について

### ◆興正寺境内全域、墓地参道は車両進入および駐停車禁止です



昨今、福祉施設の方々の利用が増え、五重塔(平成大佛)前で車両からの乗り降りをされる場面が見られます。五重塔前の広場は、緊急車両などの通行ルートに入っています。とくにこの五重塔前広場への駐停車は固く禁じさせていただきます。ご年配の方や車椅子利用者はすぐに動けないので、非常に危険です。

- ◎団体参拝等、大型車両やバスは、ゲートを入ってすぐの左側、ビオトープ対岸の砂利道に駐車してください。(要事前連絡)
- ◎緊急車両、業者、寺内車または、葬儀関係、葬儀施主さまとそのご家族など、當山が特別に許可を出している車両は隨時進入、決められた場所に駐停車ができます。その場合も乗り降りは、光明殿南側など當山の許可している場所でお願いします。
- ◎大日堂広場についても駐停車は固く禁じさせていただきます。興正寺総本尊の御宝前です。例えお墓参りのためでも広場に停められた車両の、その間を縫うように他の参拝者が歩くという危険な場面があつてはなりません。

参拝者の皆さまの安全のため、ご協力を心よりお願い申し上げます。

## 興正寺行事カレンダー

3月

普門園拝観時間 10:00~16:00

休園日 12日(土)・14日(月)・20日(日)・26日(土)・27日(日)

月	火	水	木	金	土	日
29 仏滅	1 大安 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	2 赤口	3 先勝	4 友引	5 先負 啓鑑戌の日 ○大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り ○能満堂秘仏開扉 10:00 開扉法会 拝観は13:00まで ○安産合同祈禱会 15:00 本堂 	6 仏滅 ☆ブライダルフェア 11:00 人前模擬挙式 15:00 仙前模擬挙式 大書院 要予約 
7 大安 △遊翠の心 茶の湯 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,000円 △遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,000円 西山 海良 ★八琴庵定休日 	8 赤口 ○大日如来縁日 12:30 大日堂 理題分経祈禱 △遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,000円 西山 海良 ★八琴庵定休日 	9 友引 △遊翠の心 きもの装い 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	10 先負 △遊翠の心 茶の古典を読む会 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,000円 柳田英伸 △阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	11 仏滅 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘 △御詠歌初級講座 14:00 普照殿 鈴村 智弘	12 大安 	13 赤口 ○虚空蔵菩薩 緑日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 諸堂干支参り ○能満堂秘仏開扉 10:00 開扉法会 拝観は13:00まで 
14 先勝 ○興正寺 開山忌 天瑞圓照大和尚忌 10:30 奥之院 ☆開山忌記念茶会 濃茶席 表千家 長谷川如隱 薄茶席 裏千家 伊藤宗觀 二席 2,500円 	15 友引 ○東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之網おくり	16 先負 	17 仏滅戌の日 彼岸入り ○安産合同祈禱会 14:30 本堂 △御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘 ○彼岸合同供養会 本堂 8:00/11:00/ 13:00/16:00/ 19:00 圓照堂 8:00/10:00/ 11:00/14:00/ 15:00/16:00	18 大安 ○觀世音菩薩縁日 13:00 觀音堂 護摩祈禱/法話 △仏典読み解き講座 10:00 普照殿 柳田 英伸 	19 赤口 ○永代祠堂法会 10:30/12:00/ 13:30 本堂	20 先勝 春分 ○興正寺合同慰靈 法会 9:30 本堂 ○人形・仏具供養会 13:00 参道 ○動物慰靈法会 14:30 新回廊 
21 友引 握替休日 ○弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ○月並御影供 14:00 本堂 △写經写仏講座 11:30 光明殿 △御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村智弘 ○彼岸合同供養会 本堂 8:00/11:00/ 13:00/16:00 圓照堂 8:00/10:00/ 11:00/14:00/ 15:00/16:00	22 先負 	23 仏滅 彼岸明け ○涅槃会 13:00 西山本堂 12:40より法話 △御詠歌初級講座 13:00 本堂出仕 鈴村智弘 ☆一日修養会 10:00 要予約 	24 大安 ○地藏菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おくり/ 紙芝居 	25 赤口 △遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 	26 先勝 ☆第2回さくらカレッジ △各講座 各会場 10:00/11:30/ 13:00/14:30 要事前申込 	27 友引 △各講座 各会場 10:00/11:30/ 13:00/14:30 要事前申込 
28 先負 ○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 	29 仏滅 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 △遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,000円 西山 海良 	30 大安 △阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	31 赤口 △仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄	1 先勝	2 友引	3 先負

3月20日(日)

どうぶつけいわうほんじ  
動物慰靈法会 14時30分より 新回廊にて卒塔婆を建て、大切な家族の一員であった動物たちのご供養を致します。  
供養料:一頭/5,000円より  
(二尺塔婆にペットのお名前を記し、ご供養いたします)じんぎょうじふくぎやう  
人形・仏具供養会 13時より 特選にて  
ご供養いたたくみからお名前を記して頂く、毎日の奉持とさせていただきます。大切にしていた物や心を込めて使われた物、なかなか手放せない  
もの。想い出の品々を、お経をあげてご供養いたします。  
供養料:段ボール一箱(または45リットル袋1袋)で3,000円より